

2019年3月29日

株式会社青山財産ネットワークス

代表取締役社長 蓮見 正純

海外不動産 運用商品の新規組成について
成長著しいインドネシアにて注目されている国内初のオールジャパンプロジェクト
日系駐在員の住み心地を最優先に考え作られた
『BRANZ SIMATUPANG (ブランズ シマトパン)』

株式会社青山財産ネットワークス(代表取締役社長 蓮見正純 以下「当社」)は、このたび海外不動産 運用商品としてインドネシア国内初のオールジャパンプロジェクト『BRANZ SIMATUPANG (ブランズ シマトパン)』を対象とした運用商品を組成いたします。

■当社ならびに海外運用商品 (インドネシア) につきまして

当社は「財産の承継・運用・管理を通じてお客様の幸せに貢献する。」ことを経営目的として個人の富裕層と企業のオーナーに対して総合財産コンサルティングを提供しております。昨今、低金利が続く国内状況の中で、海外における資産運用のニーズが高まり、財産のポートフォリオのひとつとして海外の運用商品に注目が集まっております。

このたびインドネシアにおいて 40 年以上の事業実績を誇る東急不動産株式会社が日本における経験とノウハウを生かしたインドネシア国内初の「オールジャパンプロジェクト」として注目されている『BRANZ SIMATUPANG』を、新たな海外運用商品として組成しております。

■組成の背景および『BRANZ SIMATUPANG (ブランズ シマトパン)』について

インドネシアは、2030年には総人口約2億6,600万人(総人口約2億6,600万人は2019年時点であり2030年の総人口は更に増加しているものと予想されます。)のなか、中産階級が1億3,500万人を占め更なる経済成長を促し、世界第7位の経済大国になることが予想されております。また近年においても5%前後の経済成長率を維持しており、日系企業の進出が加速し、日本からの駐在員も年々増加しております。そのような日系駐在員の不動産需要が高まるなか、日系駐在員の住み心地を最優先に考えられた物件『BRANZ SIMATUPANG』が注目されています。建築から運用、警備にいたるまで「オールジャパン」の企業で行うインドネシア国内初のプロジェクトとなっており、施工の丁寧さや管理状況が圧倒的に卓越し、将来性の高い物件とされています。また、立地においても今年開通した地下鉄(MRT)により空港や中心都市へのアクセスも良く、住居の周りには病院やシティバンク、インターナショナルスクールなどインフラや商業施設も整っています。

当社はこれまで培ってきた総合財産コンサルティングの知見を活かして、国内不動産の運用、管理、活用にとどまらず、新たな案件組成に尽力してまいります。

【株式会社青山財産ネットワークス概要】

社名 : 株式会社青山財産ネットワークス
URL : www.azn.co.jp/
所在地 : 東京都港区赤坂 8 丁目 4 番 14 号
設立 : 1991 年 9 月 17 日
資本金 : 10 億 8,893 万円
代表者 : 代表取締役社長 蓮見 正純
事業内容 : 財産コンサルティング、事業承継コンサルティング、
不動産ソリューションコンサルティング

本件に関するお問い合わせ先

株式会社青山財産ネットワークス 経営管理本部 人事広報課 03-6439-5824